

■ 自転車通行空間を取り巻く環境

- ・ 自転車は、環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、その利用ニーズが高まっています
- ・ その一方で、交通事故全数の増減傾向に比べ、自転車事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故が急増している状況にあります。

■ 新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会

- ・ 国土交通省と警察庁が合同で「新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会」を開催し、懇談会よりレポート（平成19年7月5日）
- ・ 懇談会概要の内容については、以下のホームページを参照
http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/bicycle_envirion/index.html

■ 自転車通行空間を整備する体制整備

- ・ 各都道府県において、道路管理者と警察が連携し、自転車通行空間を整備するための連絡体制を設置中。
- ・ 上記、連絡体制において危険箇所の確認を確認中。

■ モデル地区の募集

- ・ 今後の自転車通行空間性における模範としてモデル地区を募集。
 - ・ 年内をめどに、候補地区を提出いただき、指定を予定。
- ※参考として「自転車利用環境整備ガイドブック」を発出。（別途、概要版参照）

■ 継続した自転車通行空間を整備へ

- ・ 模範となる自転車通行空間整備のモデル地区を踏まえ、自転車通行空間を整備していきます。